

100万円寄付

「旭川が元気になってもらえれば」と話すのは不動産業(株)早崎企画の早坂天社長(75)。

同社はクリスマスイブ



の昨年12月24日、

「新型コロナ
ロナ感染
症対策基

金」に積み立ててと、現金100万円の寄付を行った。

この日、早坂社長は市役所を訪れ、西川市長に寄付金を手渡した。これを受け、市長から感謝状を受け取った。市はこの寄付金を医療・検査体制の強化や地域活性化に役立てるとしている。

同社は道内大手スーパーに長年勤務していた早坂氏が退職後、旭川市内にアパート3棟を所有

したのをきっかけに1995年創業された。早坂氏はスーパー勤務のときに簿記や経理を学んだことが大きな財産となった。その後、順調に不動産事業を拡大し、現在はアパート173棟(約1600世帯)を経営。従業員はアパートを含め48人。しかも、「従業員一致団結、お客様に満足してもらえ、る行動」をモットーに、入居率97%を維持している。

退去時の清掃を免除するなど入居者本意の経営で、かつて早坂社長は道内テレビの番組で「日本一太っ腹な大家さん」と紹介されたこともある。

早坂氏は十勝・足寄町出身で、鈴木宗男参議院議員の実家とは近所だったという。

また、旭川の地域づくりについても人口減に強い危機感を抱いている。

「このまま若者世帯が減り続ければ、いずれ旭川経済は疲弊する。この流れを今食い止めないと」と熱っばい。